

投稿規定

1. 投稿内容

「日本クリニカルパス学会誌(Journal of Japanese Society for Clinical Pathway)」の投稿原稿は、クリニカルパスに関する内容およびこれらに関連する領域の投稿論文で、未発表なものでなければならない。

2. 投稿資格

投稿論文の筆頭著者ならびに共著者は本学会の会員に限る。ただし、編集委員会からの依頼原稿についてはこの限りではない。

3. 投稿論文種別

- (1)原 著：クリニカルパスに関連する研究で、十分な独創性および新規性を有し、科学的に価値ある事実あるいは結論を含むもの。
- (2)研究報告：クリニカルパスに関連する研究で、科学的に価値ある事実あるいは結論を含むもの。
- (3)実践報告：クリニカルパスに関連する活動で、一定の成果を挙げ、学会員が共有するに十分な価値のあるもの。
- (4)総 説：クリニカルパスに関連する事項についての総括あるいは包括的な解説を内容とするもの。
- (5)そ の 他：日本クリニカルパス学会の企画による、クリニカルパスに関連する有用な報告および活動を単発で掲載する『特集』やそれらを継続的に掲載する『連載』などは、原則として編集委員会からの依頼とする。

4. 投稿様式

投稿原稿はMicrosoft Wordにて日本語および英語を用いて横書きで作成する。改行の際は冒頭1字分を空け、原稿の下部中央に頁番号を明記する。句読点は句点(。)、読点(、)を使用し、欧文・数字・小数点および斜線(/)は半角を使用する。外国語、原語は明瞭な欧文活字体を用いる。日本化したものはカタカナを用いてもよい。略語は原則初出時に正式名称を記載し(以下、)として略語を記載する。

(1)原稿の長さ

図・表・文献を含み、原著・研究報告は12,000字以内、実践報告は10,000字以内、総説は16,000字以内、特集・連載は執筆依頼時に編集委員会にて定める。

通常の図・表は1枚につき400字として換算し、パス表など大きなものは、1枚につき2,400字と換算する。

(2)原稿の構成と内容

論文の先頭には次の①から⑤を記載し、①②⑤はすべて和英併記とすること。

①表題、②著者名及び筆頭著者の職種、③所属施設及び所在地(所属施設名は英文併記)、④要旨(原著・研究報告は和英併記で和文600字以内、英文300 word以内、実践報告・総説は和文600字以内のみ)、⑤キーワード(5つ以内)。

論文本文の構成は、原著・研究報告では、「緒言(はじめに)」「方法」「結果」「考察」「結論」「利益相反」「引用文献」の順に記載する。研究補助金についての記載、謝辞、その他の特記事項等は結論を記した後に記載する。実践報告については特に見出しは規定しないが、原著・研究報告に準じた様式が望ましい。

(3)図表

図表はすべて別紙に書き、図1、表1と必ず番号を記載しタイトルを明記する。その際、表のタイトルは上に、図のタイトルは下に入れる。また、各図表の挿入箇所を本文に(図1)(表1)と記載し指定する。また、不鮮明な図のトレース費用、カラー図表の掲載費用は実費を著者負担とする。

(4)記号と数字

数字はアラビア数字を用い、度量衡などの単位は原則として英文略称を用いる。例：mm、cm²、mL、dL、L、mg、g、kg、%などを用いる。

(5)倫理への配慮

ヒトを対象とする研究が含まれる場合には、倫理審査を担当する委員会からの承認を得ていることを本文に記載すること。なお、原著・研究報告は「方法」内に記載すること。

(6)利益相反の開示

利益相反の有無を本文に記載すること。

(7)オーサーシップ

1)すべての著者は、著者資格として、国際医学編集者会議(ICMJE)のオーサーシップの4つの基準を全て満たしていること。

- ①研究の構想、デザイン、研究データの取得・分析・解釈のいずれかに対する実質的貢献をした。
- ②研究論文の草稿を執筆、あるいはその知見に対して、重要な内容について批判的に推敲を行った。
- ③出版原稿に最終的な承認を行った。

④研究論文の正確性または整合性に関する疑義が適切に調査され、解決されることを保証するために、研究のあらゆる側面について責任を負うことに同意した。

2) 著者資格の基準を満たしていない場合には、協力者として名前を謝辞に記載すること。

3) 上記のオーサーシップの基準を満たしているのに著者としていないゴーストオーサーシップがないこと。

(8) 文献(引用・参考文献)

1) 本文中の文献の記載方法

本文中の引用・参考箇所の右肩に片カッコ付で引用順に番号を付し、その番号順に文献の部に2)の文献リストの記載方法に則り、一括して収載する。

ある箇所を引用する場合には、引用文献の番号を付すことに加え、引用した箇所を「」で文中に挿入し、文の最後に()で該当頁数(複数頁に渡るときは、p.5-6とする)を記す。

引用箇所の記載例)

「パスは目標管理ツールといえる(p. 8)」²⁾と述べられている。

2) 文献リストの記載方法

著者名は3名以内の場合は連記、4名以上の場合には第4著者以降を他(英文の場合はet al.)とする。英文は姓、名(イニシャル)の順とする。英文誌はMedline、邦文誌は医学中央雑誌に準じた略記とする。

【雑誌の場合】

番号) 著者名: 論文名. 雑誌名巻: 初めの頁-終わりの頁, 発行西暦年号.

記載例)

1) Pearson SD, Goulart-Fisher D, Lee TH: Critical pathways as a strategy for improving care: problems and potential. Ann Intern Med 123: 941-948, 1995.

2) 高山慎司, 内山伸, 石丸博雅, 他: DPC導入におけるゲフィチニブクリニカルパスの医療経済評価. 日クリニカルパス会誌 9: 639-645, 2007.

【書籍・単行本の場合】

番号) 著者名: 題名, 書名(編者名), 版, 発行西暦年号, 初めの頁-終わりの頁, 出版社名, 発行地.

記載例)

1) 小林美亜, 阿部俊子: ヴァリアンス分析の方法論, エビデンスに基づくクリニカルパスこれからの医療記録とヴァリアンス分析(高瀬浩造, 阿部俊子), 第1版, 2000, 69-75, 医学書院, 東京.

【Webサイトの場合】

Webサイトは、他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用してよいものとする。その場合、下記の通りWebサイト名とアドレスを簡潔に記載するとともに、アクセス日も附記する。

番号) 発信元(管理者名): ページタイトル, URL(アクセス年月日)

記載例)

1) 日本クリニカルパス学会: 学会概要定義. <http://www.jscp.gr.jp/about.html#sub02> (アクセス2017年4月1日)

5. 利益相反

投稿時に著者全員が自己申告による利益相反(COI)報告書を提出すること。「自己申告による利益相反(COI)報告書」は、学会誌に綴じ込みのものを使用するか、学会ホームページ(<http://www.jscp.gr.jp/>)からもダウンロードすることができる。

6. 原稿の送付

原稿は、A4用紙にプリントアウトした紙媒体2部(1部はコピーで可)およびWordのデータファイルで提出する。紙媒体は郵送とし、データファイルはメール送稿(送付先アドレス: jscp-admin@umin.ac.jp)を原則とするが、紙媒体と同封のメディア(CD-R、DVD-R、USB等)での送付も可とする。ただし、メディアの返却は行わない。

7. 原稿の送付先

原稿は学会事務局宛、書留郵便、レターパックあるいは宅配便等の追跡可能な方法にて送付する。表書に「投稿原稿在中」と朱記すること。また、原稿には本誌掲載の「投稿カード」、「著者および共著者の同意書」、「論文投稿チェックリスト」、「自己申告による利益相反(COI)申告書」を添付すること。「投稿カード・著者および共著者の同意書・論文投稿チェックリスト・自己申告による利益相反(COI)申告書」は学会誌に綴じ込みのものを使用するか、学会ホームページ(<https://www.jscp.gr.jp/>)からもダウンロードすることができる。

8. 採否審査

1) 査読者の選定は、編集委員会が行う。

2) 原稿は、複数の専門家による審査の上、掲載の採否を決定する。掲載にあたっては原稿の一部修正を求められることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿すること。掲載は、投稿受付順を原則とするが、審査もしくは編集の都合により変更となることがある。また、投稿原稿は原則として返却しない。

- 3) 編集委員会が修正を求めた原稿は、通知日から3ヵ月以内に限り再提出を受け付ける。3ヵ月を経過しても連絡がない場合には、投稿取り下げとみなす。ただし、正当な理由がある場合はこの限りではない。
 - 4) 投稿論文の受理日は、編集委員会の審議後、最終的に当学会誌への掲載を許可された日付けとする。
9. 別刷り
30部まで無料。それ以上は有料(1部100円)とする。投稿カードに所要部数、別刷り送付先を記載すること。
10. 著作権
本誌に掲載された論文の著作権は、日本クリニカルバス学会に帰属する。著作権の譲渡に当たって著者全員の署名を必要とするため、「著者および共著者の同意書」に署名して提出する。

(2023年11月9日改訂)

「日本クリニカルパス学会誌」投稿カード

受付番号			
受付日	注意：太線内の欄はすべて著者が記入、○をつけてください		
掲載希望欄	1. 原著 2. 研究報告 3. 実践報告 4. 総説 5. ()		
筆頭著者名		会員ID	
連絡先 勤務先・自宅	郵便番号		
	所在地		
	機関名・部署名		
	氏名		
	TEL		
	FAX		
	E-Mail ※必須		
原稿論文題名 (和文)			
原稿論文題名 (英文)			
原稿文字数	要旨	字	
	本文	字	
	図(1個400字)	字	
	パス表(1個2400字)	字	
	表(1個400字)	字	
	合計	字	
別刷り希望部数	無料(30部)	部	
	有料(1部100円)	部	
	合計	部	

審査結果		氏名	投稿初回	投稿2回目	投稿3回目	投稿4回目
	編(担当)					
	審査員A					
	審査員B					

受 理	1. 原著 2. 研究報告 3. 実践報告 4. 総説 5. ()					
	受理日	掲載決定		編集委員長印		
	年 月 日	Vol. No.				

著者および共著者の同意書

一般社団法人 日本クリニカルパス学会 御中

論文名

表記論文の日本クリニカルパス学会誌掲載にあたり、その著作権を日本クリニカルパス学会に譲渡することについて、筆頭著者を含め共著者全員の同意が得られていることを証明するために、著者全員の自署署名を提出します。

日付 年 月 日

筆頭著者名

共著者名

※共著者のサインが上記の欄に書ききれない場合には、本誌をコピーしてお使いください。

自己申告による利益相反(COI)報告書

一般社団法人 日本クリニカルパス学会 御中

論文名

筆頭著者および共同著者について、投稿時から遡って過去1年以内での発表内容に関する企業・組織または団体との利益相反状態を記載。枠内に入りきらない場合には、別紙に追加すること。

項目	該当の状況	有であれば、企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・法人・団体から年間50万円以上	有・無	
② 講演料 1つの企業・法人・団体から年間50万円以上	有・無	
③ 原稿料 1つの企業・法人・団体から年間50万円以上	有・無	
④ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・法人・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた総額が年間50万円以上	有・無	
⑤ 奨学(奨励)寄付金などの総額 1つの企業・法人・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた総額が年間50万円以上	有・無	
⑥ 企業などが提供する寄付講座 企業などからの寄付講座に所属している場合に記載	有・無	
⑦ その他(特許権使用料など) 1つにつき年間50万円以上	有・無	

※本COI申告書は論文掲載後3年間保管されます。

申告日： 年 月 日

著者名(署名)： _____

「日本クリニカルパス学会誌」論文投稿チェックリスト

この論文投稿チェックリストは、投稿時の必要な手続きを確認するためと査読を迅速に行うためのものです。提出前に□に✓を記入し投稿論文とともに提出してください。チェックの未記入およびチェックリストが添付されていない場合は返却させていただきます。

1. 投稿に際して

- 筆頭著者及び共著者は、本会会員である。
- 本稿は、著者の論文である(他の出版物を含め、既発表あるいは投稿中ではない)。
- 和文要旨を確認した。
- 英文要旨を確認した(※原著・研究報告：内容は和文要旨と同じである)。
- すべての著者は、研究の構想、デザイン、研究データの取得・分析・解釈のいずれかに対する実質的貢献をした。
- すべての著者は、研究論文の草稿を執筆、あるいはその知見に対して、重要な内容について批判的に推敲を行った。
- すべての著者は、出版原稿に最終的な承認を行った。
- すべての著者は、研究論文の正確性または整合性に関する疑義が適切に調査され、解決されることを保証するために、研究のあらゆる側面について責任を負うことに同意した。

2. ヒトを対象とした研究の場合

- 対象となる被験者に研究の目的について十分に説明し、理解を求め、同意を得ている。
- 匿名性の保障など、対象となる被験者の人権擁護のための配慮をしている。
- 倫理審査を担当する委員会の承認を得ていることを本文に明記している。

3. 原稿の形式

- 論文の先頭には次の①から⑤を記載し、①②⑤はすべて和英併記となっている。
①表題、②著者名及び筆頭著者の職種、③所属施設及び所在地(所属施設名は英文併記)、④要旨(原著・研究報告は和英併記で和文600字以内、英文300word以内、実践報告・総説は和文600字以内のみ)、⑤キーワード(5つ以内)。

4. 本文について

- 論文の構成は、原著・研究報告では、「緒言(はじめに)」「方法」「結果」「考察」「結論」「利益相反」「引用文献」の順に記載している。実践報告については特に見出しは規定しないが、原著・研究報告に準じた構成となっている。
- 図、表はすべて別紙に書き、図1、表1と必ず番号が記載されている。また図、表の挿入場所を本文に指定されている。図、表にはタイトルが明記され、表のタイトルは上に、図のタイトルは下に記載されている。

5. 引用文献

- 引用文献は、投稿規定に従って適切に記載されている。
- 引用文献は、公開された情報源から入手できるものである。

以上 上記について確認いたしました。

年 月 日

筆頭著者署名

印